

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 鳥取県鳥取市
本事業の担当部署 健康こども部

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		3.1.1 その他、結婚・妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
個別事業名		鳥取市とっとり子育てサポート事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和8年4月1日		～ 令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		2,911,300		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	2,911,300
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,911,300					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	717,300	0	139,000	39,000
	対象経費支出予定額	0	0	717,300	0	139,000	39,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	1,078,000	594,000	0	344,000		2,911,300
	対象経費支出予定額	1,078,000	594,000	0	344,000		2,911,300
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市における合計特殊出生率は、平成30年以降、概ね1.5前後で推移しており、その社会的要因としては未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数減少、若年層の転出超過等が考えられることから、少子化の要因を踏まえ、長期的な視点で少子化対策に取り組む。 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる、子育てしやすいまちづくりを進める。 <本個別事業の位置付け> 子育て支援アプリの提供や、子育て支援カード事業、離乳食講習会等の子育て世帯に寄り添った支援を実施することで、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、地域ぐるみで安心して子育てができる子育て環境整備の充実を図るとともに子どもを産み育てやすいまちづくりを推進する。				
	番号	項目	内容				
	1	子育て支援アプリ活用推進事業	妊娠・出産・子育て中の方に必要な情報や妊娠健診・乳幼児健診の結果管理、予防接種の記録等を行う「とっとり子育て支援アプリ」を提供し、切れ目のない支援を行う。併せて、子育てに関する本市の各種サービスをわかり易く周知することにより、「子育てしやすいまち鳥取市」をPRし、若者の婚活意欲を高める。				
	2	子育て支援カード事業	3人以上の子を有し、最低一人が就学前である子育て家庭の保護者を対象に、協賛店舗でカードを掲示することにより、各種サービスを受受できる子育て支援カードを発行し、子どもを育てやすいまちづくりを進める。				
3	鳥取市連合母子会助成事業	市連合母子会が行う地区懇談会、研修会、ひとり親家庭の親子ふれあいの集い等への運営費補助を通じ、当事者同士が安心して交流・相談できる機会を確保し、孤立の防止と相互支援の促進を図るもの。これらの継続的な取組により、不安や課題への理解を深め、身近な関係性の中で子育てを支え合う温かな社会づくり、子育て世代のひとり親が地域に定着でき自分らしく輝ける社会づくりにつなげる。					

個別事業の内容	4	育児等健康支援事業	地域の子育てサークルや子育て支援センターを会場にそこに集まる子どもと保護者を対象として、親子のふれあい遊びや、グループワーク、子育て講座を実施する。 ・地域子育て相談の実施 97回(小学校校区ごと) 対象者:地域の親子を対象 参加予定者数:1回あたり3～5組(6～10人)程度 内容:体操、読み聞かせ、健康教育等		
	5	子育てサークル支援事業	地域の子育てサークル活動の支援を目的として、ゆうゆうとっとり子育てネットワークの活動に補助金を交付する。 ゆうゆう子育てネットワークの活動の支援 ・交流会、年1回イベント「ゆうゆうまつり」の開催 ・保健事業への参加協力		
	6	離乳食講習会	子育てにより閉じこもりがちな保護者は多く、離乳食が育児不安の一因となっていることから、講習会に参加してもらうことで育児全般の不安解消を図るとともに、保護者同士の交流・情報交換をきっかけとした仲間づくりの機会とすることで、保護者が前向きに育児を行うことができるよう支援を行う。 ○講習会内容 ・管理栄養士による離乳食に関する講話、調理実演 ・保護者による試食会、交流会、情報交換 ・個別相談、母子事業紹介(管理栄養士、保健師、歯科衛生士、保育士等) ・市内3会場計32回 ○対象 ・5～6か月児の保護者 ・9～12か月児の保護者 ○周知等 ・本市ホームページ、市報 ・赤ちゃん訪問時、6か月健診時 ・本市子育てアプリ		
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 【事業番号①】利用率向上に向けプッシュ配信による利便性向上を行う。 【事業番号②】事業継続により引き続き子育てしやすい街づくりを進める。 【事業番号④】子育てをしている家庭の孤立の予防、育児不安の軽減が課題となっているため、地域での子育て支援として相談場所や親子のふれあいの場の提供に取り組んでいる。 【事業番号⑤】子育てサークル及びその支援者の広域ネットワークづくりが課題となっているため、子育てサークルの活動支援、交流会、研修会の開催に取り組んでいる。 【事業番号⑥】講習会の周知経路は赤ちゃん訪問が8割と多いことから、引き続き保健師、母子保健推進員と連携のもと周知を図る。				
	少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)
鳥取市の合計特殊出生率		人	1.6 (R12年度)	1.32 (R6年度)	
「子育てしやすい環境」と思う市民の割合		%	60.0 (R11年度)	61.1 (R6年度)	
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.35 (R5年)	
	婚姻件数		件	624 (R5年)	
	婚姻率			3.4 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	【事業番号①】子育て支援アプリ利用者数	件	2,330 (R8年度)	1,980 (R7年度見込)
	②	【事業番号②】延べ登録者数	人	1,400 (R8年度)	1,357 (R7年度見込)
	③	【事業番号④】地域子育て相談	回	97 (R8年度)	100 (R7年度見込)
	④	【事業番号⑤】開催回数	回	1回 (R8年度)	1回 (R7年度見込)
	⑤	【事業番号⑥】講習会参加者数	人	560	446 (R6度)
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	【事業番号⑥】アンケートにて参考になったと回答した人の割合	%	90% (R8年度)	100% (R7年度見込)